



## ボランティアの種類

# 4. 特技・技術・資格 趣味などを活かした活動



### ● 指導ボランティア

書道、演芸、パソコン、農業、料理、お茶、お花、スポーツ、絵手紙、写真、マジック、伝承遊び、囲碁・将棋、野外活動、音楽、ダンス、着物着付け、レクリエーションなど

### ● 案内ボランティア

美術館、博物館、図書館、観光地の案内など



### ● 高齢者・障がい者支援

手話通訳、要約筆記、点字、字幕、音声訳、朗読、布の絵本、拡大写本、就労支援、ガイドヘルプ、障がい者の旅行、移送、運転など

Pick up

#### 動物関係

### 補助犬

補助犬には「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」の3種類あります。盲導犬の子犬はパピーウォーカーとよばれる里親ボランティアの家庭に預けられ、1歳になるまで家族の愛情を受けて人間との信頼関係をつくり、社会に適應する基本的なしつけや健康管理をします。その後訓練施設で訓練を受け、視覚障がい者と共に生活をします。仕事を終えて引退した犬は、引退犬飼育ボランティアに引き取られ、余生をゆっくり過ごします。

※補助犬がハーネス(胴輪)をつけている時は工作中ですので、触ったり、呼びかけたり、食物を与えたりしないで下さい。

### ● アトラクション

南京玉すだれ、マジック、歌謡、舞踊、楽器の演奏、演劇、腹話術、落語など

### ● 動物関係

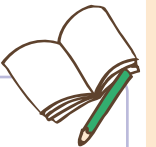
犬や猫の里親(里親さがし)、パピーウォーカー、引退犬飼育、犬の散歩、アニマルセラピー、補助犬など



Pick up

#### 障がい者支援

### 要約筆記



要約筆記とは、聴覚障がい者に、話の内容をその場で文字にして伝える筆記通訳のことです。ふつう1分間に「話す速さ」は300～350字ですが「書く(入力)速さ」は60～70字であり、全部は文字化できないため、話の内容を要約して筆記するのです。講演会や会議などにはOHC(オーバーヘッドカメラ)を使用し、スクリーンに投影します。OHCが使用できなかったり、少人数の時は隣で紙に書いて伝えるノートテイクがあります。大学では学友がボランティアで支援するネットワークもできていますが、他大学の学生が支援するネットワークづくりに今後は期待されます。また、ニーズは多様ですが、要約筆記者は不足しています。養成講座は無料で開催されていますので、一人でも多くの方が技術を学び、周囲で困っている聴覚障がい者と気軽にコミュニケーションがとれるようになってほしいものです。